

修 士 論 文 作 成 要 領

(令和 8 年度)

産業医科大学 大学院医学研究科

看 護 学 専 攻

1. 修士論文作成にあたっての注意事項

- 1) 修士論文は和文または英文で作成する。
- 2) 論文の作成にあたっては、指導教員の指導のもと行うこと。
- 3) 論文の長さや構成は指導教員と相談すること。

2. 修士論文の構成について

1) 構成概要

ア) 表紙、イ) 論文要旨、ウ) 目次、エ) 論文(本文)、オ) その他(引用文献など)

ア

イ

ウ

エ

オ

修 士 論 文
(令和 年 月 日提出)

論文題目 _____

大学院医学研究科
看護学専攻 _____ 領域
学 生 番 号 _____
氏 名 _____
指 導 教 員 _____
補 助 教 員 _____

産業医科大学大学院

3. 論文の原稿様式について

- 1) 論文は、パソコンを使用し、ワープロソフトで作成する。
- 2) 用紙は、A4判の用紙を用いる。本文は原則縦置き・横書きとし、印字は黒、片面印刷のうえ左上をダブルクリップで綴じる。
- 3) 1ページは、和文の場合は1行40字(全角、MS明朝体、10.5ポイント)×30行、英文の場合1行80字(半角、Times New Roman、10.5ポイント、ダブルスペース)×

30行で印字する。

4) 上下左右に各 30mm ずつ余白をとり、下余白中央部分（下端から 12mm）に頁番号を付す。本文の最初の頁より 1 ページとし、引用文献の最後のページを最終ページとする。ページ番号スタイルは、数字の両側にハイフンをつける。例：(-*-)

4. 本文の作成

1) 章、節のたて方、章、節の名称、順序などは自由とする（以下はその一例）。

1. 研究の背景（理論的背景、目的、意義など含む）
 - 研究のきっかけ
 - 先行研究
 2. 研究の目的
 - 研究の目的・意義
 3. 研究方法（依頼手順、選定方法、分析方法・信頼性と妥当性、倫理的配慮など含む）
 - 研究・調査の方法
 - 研究・調査の対象
 - 分析方法
 - 倫理的配慮
 4. 結果
 - 結果の詳細
 5. 考察
 - 結果の考察
 - 研究の限界・課題
 6. 結論
 - 研究成果のまとめ
- <謝辞>
- <引用文献>
- ・ 図、表
 - ・ 添付資料（依頼状、同意書、質問紙、インタビューガイドなど含む）

2) 論文の構造

- Title (タイトル) → 内容を明確に示す
- Authors (著者) → authorship が分かるようにする
- Abstract (抄録) → 何をしたかを簡潔に説明する
- Keywords (キーワード) → 論文が抄録・索引サービスで正しく識別されるようにする
- Introduction (序文) → 背景・仮説を説明し、研究の目的を示す
- Materials & methods (方法) → データの収集方法や実験方法を説明する
- Results (結果) → 何を発見したかを説明する
- Discussion (考察) → 研究結果の意味を検討する
- Summary and Conclusions (まとめと結論) → 導かれた結論とその意義を説明する
- Acknowledgements (謝辞) → 研究を支援した人が分かるようにする
- Conflict of interest (利益相反) → 利益相反の有無を明示する
- References (参考文献) → 過去に出版された論文が分かるようにする
- Supplementary material (補足資料) → 専門家向けの補足資料を提供する

3) 学位論文 (審査稿) では、行番号を表示する。

4) 学位論文 (修正稿) では、行番号を表示し、修正履歴を残すこと。

5) 学位論文 (本論文) では、行番号、修正履歴は消去すること。

5. 引用文献の記載について

1) 文献は本文中において引用の順にカッコ[]内に番号で記入する。

(例) [7]、[11, 12]、[11-13, 17]

2) 引用文献リストは、以下を参考にして引用順に記載する。

i 学術雑誌の場合

引用番号. 著者名(発行年): 表題. 雑誌名 巻 (各号の始頁が1頁からの場合のみ(号)を記入する): 始頁-終頁

ii 単行本の場合

引用番号. 著者名(発行年): 表題. 書名. 巻数. 版数. (著者名). 発行所, 発行地 pp 引用始頁-終頁

iii 訳書の場合

引用番号. 原著者名(発行年): 書名. 巻数. 版数. 発行所, 発行地. 訳者名(発行年), 書名. 巻数. 版数. (著者名). 発行所, 発行地 pp 引用始頁-終頁

iv インターネットの場合 (ただし、なるべく印刷物を用いること)

引用番号. 著者名(発行年): 表題. 発行所, 発行地 URL (アクセスした年月日)

v 共著者は、和文の場合は , (コンマ)、英文の場合は , (コンマ) と & (最終著者の前)

で区切り、3名までは全員併記、4人以上の場合は最初の3名を記載し、以下「他」

(外国語文献の場合は「*et al.*」) と略す。洋書の編者は「*ed*」と略記する。ただし、

編者が複数のときは、「*eds*」と略す。

(記載例)

1. Yamada T & Nakamura J(1988) : A false.... J UOEH 10:301-315
2. Ahrendt M, Hammerschmidt SI, Pabst R & Bode U (2008) : Stromal cells.... J Immunol 181:1898-1907
3. Yamada T, Nakamura J, Suzuki S *et al* (1988) : Work place.... J Environ Med 12: 1037-1042
4. Yamada T, Nakamura J, Suzuki S (1988): Degradation of.... *In* : Environmental Contamination and Pollution. (Tanaka S & Satoh G, *ed*). ○○Univ Press, London pp 35-38
5. 山田太郎, 中村次郎, 鈴木三郎, 他(1988):産業医学領域における…。産業医学研究 12:103-114
6. 数間恵子, 武田祐子(1999):がん看護における遺伝カウンセリング. 新しいがん看護. 初版. (大場正巳, 他, 編). ブレーン出版, 東京 pp 59-71
7. Whitman NI, Graham BA, Gleit CJ, *et al*(1992): Teaching in Nursing Practice. Appleton & Lange, Connecticut.安酸史子監訳(1996), ナースのための患者教育と健康教育. 医学書院, 東京 pp 151-173
8. 厚生労働省大臣官房統計情報部(2008):平成 18 年度地域保健・老人保健事業報告(老人保健編). 財団法人厚生統計協会, 東京 pp 500-531
9. 厚生労働省(2004):がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針検診. 老老発 第 0427001. 厚生労働省, 東京 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/s0427-2.html> (Accessed May 2,2014)

6. 図、表および添付資料について

- 1) 図、表は、できる限り本文の該当する場所に、本文文字の大きさとバランスを考えて挿入する。
- 2) 図、表は、別々に通し番号(章ごとに、(例) 第 2-1 図、第 2-2 図、第 3-1 表) とタイトル(図の場合は図の下中央、表の場合は表の上中央)をつける。
- 3) 図、表の番号を本文の該当する箇所に明示する。
- 4) 末尾に添付する場合は、図、表とも 1 頁に 1 つ中央に配置する。
- 5) 研究に用いた調査用紙、説明書、同意書、尺度の利用許諾などは資料として添付する。
- 6) 図、表および添付資料の頁は、下中央(下端から 12mm)につける。本文と区別するために図、表、資料とつける。

7. その他

- 1) 論文の表現は冗長にならないように心掛ける。
- 2) 和文の場合は、現代仮名遣いに従い、原則として常用漢字を用いる。
- 3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は国際単位系(SI)を用いる。数字および欧文文字は原則として半角とする。
- 4) 句読点は、,(コンマ)および.(ピリオド)を用いる。
- 5) 行頭に句読点、拗音、促音など下付き文字が来ないように、文章、語句を注意して書く。
- 6) 成語(一般、同一、数百名など)を除き、数字はアラビア数字を用いる。
- 7) 外来語はカタカナで書く。外国人名および訳が一般化されていない事象や物質名は、英語表記とする。
- 8) 慣用化されていない略語や略字を用いる場合は、文中の最初に表記したところで括弧内に、例えば、看護ストレス尺度(Nursing Stress Scale : NSS と略)のように記載する。
- 9) 謝辞については、必要最小限とし、指導教員に対する謝辞は述べない。

修 士 論 文

(令和 年 月 日提出)

論文題目

※ 題目に副題が付く場合は、全角ダッシュ (—) で括ってください。
この注意書きは削除して作成すること。

大学院医学研究科 看護学専攻

コース

領域

学 生 番 号

氏 名

指 導 教 員

補 助 教 員

産業医科大学大学院

論 文 要 旨

大学院医学研究科(修士課程)看護学専攻

コ ー ス _____

領 域 _____

学生番号 _____

氏 名 _____

論文題目 (欧文の場合、和訳を付すこと)

論文要旨

【目的】

※ 800 字以内とし、項目は【目的】→【方法】→【結果】→【考察】

→【結論】の順とする。(MS 明朝、10.5 ポイント)

【結論】

目次

第1章 研究の背景

1.〇〇〇・・・・・・・・	1
1) 〇〇〇・・・・・・・・	1
(1) 〇〇〇・・・・・・・・	1

第2章 研究の目的

1.〇〇〇・・・・・・・・	2
1) 〇〇〇・・・・・・・・	2
(1) 〇〇〇・・・・・・・・	2
2.〇〇〇・・・・・・・・	3
1) 〇〇〇・・・・・・・・	3
2) 〇〇〇・・・・	4
(1) 〇〇〇・・・・・・・・	5
(2) 〇〇〇・・・・・・・・	6

以下同様の形式で

第3章 研究方法

第4章 結果

第5章 考察

第6章 結論

<謝辞>

<利益相反>

<引用文献>

- ・ 図・表
- ・ 添付資料（依頼状、同意書、質問紙、インタビューガイドなど含む）

